

有明工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	建築構法Ⅱ	
科目基礎情報						
科目番号	0028		科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	建築学科		対象学年	3		
開設期	前期		週時間数	前期:1		
教科書/教材	建築構法: 桑村仁/実教出版、必携建築資料: 柳原正人/実教出版					
担当教員	下田 誠也					
到達目標						
1. 建築物の構成要素を理解して、それらの役割を説明できる。 2. 部材の組み合わせ方を理解して、それらの特徴を説明できる。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1		建築物の構成要素を理解して、それらの役割について正しい語句を使用して詳細に説明できる。	建築物の構成要素を理解して、それらの役割について説明できる。	建築物の構成要素を理解して、それらの役割について説明できない。		
評価項目2		部材の組み合わせ方を理解して、それらの特徴について正しい語句を使用して詳細に説明できる。	部材の組み合わせ方を理解して、それらの特徴について説明できる。	部材の組み合わせ方を理解して、それらの特徴について説明できない。		
学科の到達目標項目との関係						
学習教育到達目標 B-1						
教育方法等						
概要	建築に関する専門知識を学ぼうとするものが、まず習得しなければならないことは、建築構法についての初歩的知識である。それは建物を計画したり、設計したり、更には建築図面を見て建物を理解するうえで、その知識が不可欠だからである。建築構法の授業では、鉄筋コンクリート構造、鋼構造および鉄骨鉄筋コンクリート構造を対象として「建築物の各部分と全体が、どのような材料を用いて、どのように形づくられているか、また、なぜそのように形づくするのか」ということを中心に学んでいく。					
授業の進め方・方法	講義を中心として、必要に応じて課題を与えるので、各自図書館の資料および教科書等を調べて、レポート等を提出してもらう。					
注意点	建築構法は、建物をつくるうえでその基礎となる建物の材料や構成について学習する科目である。建物を計画したり、設計したり、更には建築図面を見て建物を理解することが可能となる。そのため、建築設計演習では、建築構法が必要な知識となる。また、5年次で学ぶ建築生産では、建築構法は基礎的な知識となる。また、建築構法を理解する上では、教科書および教材等を事前に予習しておくことが大切である。					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	鉄筋コンクリート構造 構造の特徴と構造形式	鉄筋コンクリート構造の特徴および構造形式について理解できる。		
		2週	鉄筋コンクリート構造 基礎	鉄筋コンクリート構造の基礎について理解できる。		
		3週	鉄筋コンクリート構造 躯体 (第1週)	鉄筋コンクリート構造の躯体の構成について理解できる。		
		4週	鉄筋コンクリート構造 躯体 (第2週)	鉄筋コンクリート構造の配筋について理解できる。		
		5週	鉄筋コンクリート構造 仕上げ	鉄筋コンクリート構造の仕上げについて理解できる。		
		6週	鉄筋コンクリート構造 壁式構造	鉄筋コンクリート構造である壁式構造について理解できる。		
		7週	鉄筋コンクリート構造 プレストレストコンクリート構造	プレストレストコンクリート構造について理解できる。		
		8週	前期中間試験			
	2ndQ	9週	鋼構造 構造の特徴と構造形式	鋼構造の特徴および構造形式について理解できる。		
		10週	鋼構造 鋼材の接合	鋼構造の接合方法について理解できる。		
		11週	鋼構造 骨組 (第1週)	鋼構造の骨組の構成、耐震計画、部材について理解できる。		
		12週	鋼構造 骨組 (第2週)	鋼構造の梁、柱、柱脚、床、階段、耐火被覆について理解できる。		
		13週	鋼構造 基礎と仕上げ	鋼構造の基礎と仕上げについて理解できる。		
		14週	鉄骨鉄筋コンクリート 構造	鉄骨鉄筋コンクリート構造の特徴および躯体について理解できる。		
		15週	前期末試験			
		16週	テスト返却と解説			
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	材料	コンクリート製品(ALC、プレキャストなど)の特徴について説明できる。	3	
			構造	建築構造の成り立ちを説明できる。	3	
				建築構造(W造、RC造、S造、SRC造など)の分類ができる。	3	
				S造の特徴・構造形式について説明できる。	3	

			高力ボルト摩擦接合の機構について説明できる。	3	
			鉄筋コンクリート造(ラーメン構造、壁式構造、プレストレストコンクリート構造など)の特徴・構造形式について説明できる。	3	
			コンクリートおよび鉄筋について説明できる。	3	
		施工・法規	継手(重ね、圧接、機械式、etc.)の仕組みについて説明できる。	3	
			定着の仕様とメカニズムについて説明できる。	3	
			かぶりの必要性、かぶり厚さの基準・仕様・法令について説明できる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	80	0	0	0	20	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0